



9月ほけんだより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和7年9月1日
下小田中保育園

しばらく暑い日が続くと、予報が出ていますので、熱中症対策を続けながら子どもたちの体調管理をしてまいります。また、暑すぎて姿を隠していた蚊が、朝夕の気温が少し下がると、茂みから出てくるようになります。蚊に刺されると痒さのため、掻きむしって「とびひ」になる子もいますので、保育園ではもうしばらく虫よけ対策をしていきます。

9月以降も
残暑厳しく

子どもたちは毎日元気いっぱいですが、これからは今までの長い期間の高温多湿による「夏バテ」が心配になります。自分では体調不良を大人に伝えられないので、食欲が落ちたり、普段より疲れやすくなったり、ちょっとしたことで機嫌が悪くなったりといった症状が「夏バテ」のサインかもしれません。夏の疲れから病気に対する免疫力や抵抗力が落ち、夏風邪や飛び火などの感染症にかかりやすいと言われています。

無理のない範囲で、免疫力をアップしましょう

規則正しい生活リズムで十分な睡眠



バランスの良い食事



こまめな水分補給



9月9日は
「救急の日」

子どもは、見える範囲が狭かったり、見通しが持ちにくいことで、膝を擦りむいたり、あちこちぶつけて、ケガが絶えませんね。保育園では、子どもがチャレンジしてみようとする気持ちを尊重し、危険な事故につながらないように職員同志で声を掛け合い、見守りながら保育しています。鼻血や、擦りむきの傷は以下のように対応しています。「傷は消毒不要」がいまや常識となり、ご家庭で用意しておくべき薬などについて、9月9日「救急の日」にちなんで、ぜひお子さんと話題にしてみてください。

保育園ではこのように対応しています

【鼻血がでたときの対応】

- 下をむかせる
→血液を飲み込まないように
- 小鼻をしっかり押さえる
→5分以上圧迫



【擦りむいたときの対応】

- 流水でしっかり洗い流す
→汚れを落として感染予防
- 出血がある時
→圧迫し、止血するまではガーゼや絆創膏で保護

